

2013年第1四半期(1-3月)課税出荷数量ヘッドライン

1. 市場全体の概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル市場は、前半の寒波の影響などもあり、マイナス(▲2.7%)。
- ◆ ビール市場は、マイナス(▲5.7%)。
- ◆ 発泡酒市場は、マイナス(▲7.7%)。
- ◆ 新ジャンル市場は、プラス(+3.4%)。構成比は38.5%に。

2. キリン社概況

- ◆ ビール・発泡酒・新ジャンル計は、市場同様にマイナス(▲4.7%)。
- ◆ ビール計は、マイナス(▲2.2%)。
- ◆ 発泡酒計は、マイナス(▲6.0%)。
- ◆ 新ジャンル計は、マイナス(▲5.9%)。

《ビール》

- ビールカテゴリーはマイナス(▲2.2%)となったものの、「一番搾り」計ではプラス(+0.6%)。飲食店向けの樽がプラスで推移したほか、2月6日にリニューアルし、「ホットスタウト」を提案している「一番搾りスタウト」が対前年約3倍増。
- 3月からは2層に分かれたビアカテル「一番搾りツートン生」を全国の飲食店で順次展開。

《発泡酒》

- 発泡酒カテゴリーはマイナス(▲6.0%)となったものの、市場平均を上回った。
- 発泡酒市場に占めるシェアは7割を超え、第1四半期としては過去最大を記録。

《新ジャンル》

- 新ジャンルカテゴリーはマイナス(▲5.9%)。「のどごし〈生〉」は、各社の新商品などの影響を受けマイナスとなったが、リニューアルにあわせて大規模なプロモーションを展開した3月単月ではプラス。
- 2月20日に発売した、“デラックス”な濃い味の「濃い味〈DELUXE(デラックス)〉」は、年間目標の約3割となる100万ケースを販売するなど、堅調に推移。

※ ブランド別の対前年比は販売数による。

以 上